

カテゴリ管理が必要な業務シーン

ワンタッチ管理システム－補足資料

2026年2月13日

シーン1

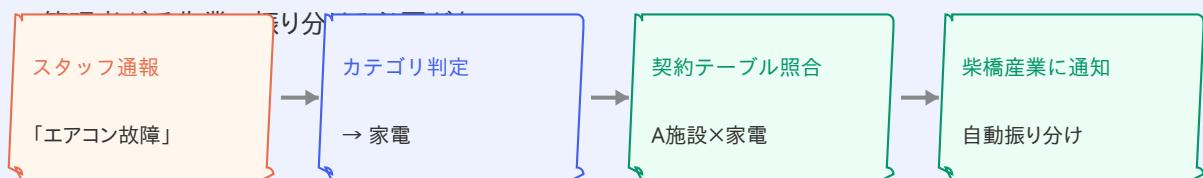
トラブル通報 → 正しい外注先に自動振り分け

A施設のスタッフが「エアコンが動かない」と通報した。

エアコンのカテゴリは「家電」。

A施設で「家電」を担当している外注先は → 柴橋産業。

→ カテゴリ管理があれば、通報が自動的に柴橋産業に届く。



▣ 今: 管理者が通報を見て、手動で外注先を選んで連絡している

▣ 将来: カテゴリで自動判定 → 外注先に即時通知

シーン2

施設ごとに外注先を使い分ける

A施設の水道は「関東水道サービス」に頼んでいるが、

B施設の水道は地元の「山田設備」に頼みたい。

→ 同じ「水道」カテゴリでも、施設ごとに外注先を変えられる。

契約テーブルがないと、全施設で同じ外注先になってしまう。

施設

カテゴリ

外注先

A施設

水道

関東水道サービス

B施設

水道

山田設備

A施設

家電

柴橋産業

B施設

家電

柴橋産業

シーン3 契約期限が切れた / 外注先を変更したい

A施設の「関東水道サービス」との契約が3月で終了する。

4月からは「山田設備」に水道を任せたい。

→ 契約テーブルで期間を管理していれば：

- ・期限切れ前にアラートが出る
- ・新しい契約を登録するだけで、通報先が自動で切り替わる
- ・過去の契約履歴も残るので、引き継ぎがスムーズ

シーン4 外注先の対応実績をカテゴリ別に評価

「柴橋産業は家電の対応は早いけど、
水道の対応は遅いから別の業者に変えよう」

→ カテゴリ別の実績データがあれば：

- ・外注先ごと×カテゴリごとの対応件数・平均対応時間が見える
- ・契約更新の判断材料になる
- ・「得意分野に集中してもらう」という適材適所の配置ができる

まとめ：カテゴリ管理で何が変わるか

、通報の振り分け 手動 → カテゴリで自動判定

、外注先の使い分け 全施設共通 → 施設×カテゴリで個別設定

、契約管理 把握できない → 期限アラート+自動切替

、実績評価 感覚的 → カテゴリ別データで判断